



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第194号 (平成30年7月17日)



(目次)

- 1 <林野庁ホームページから>森林経営管理制度(森林経営管理法)について
  - 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(135)
  - 3 <森林・林業白書から> ボランティア活動における安全確保の取組
  - 4 <樹をとりまくはなし>(15) 結婚式にパンダ目～ミフクラギ～
  - 5 <イベント情報>
    - ◆トキの島 森林の楽校2018夏(環境学実習)
- ☆ 事務局から



森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

《バックナンバー <http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》

《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》

一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>



---

## 1 <林野庁ホームページから> 森林経営管理制度(森林経営管理法)について

---

林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理の両立を図る、新たな制度が始まります

平成30年5月25日、新たな法律である「森林経営管理法」が可決され、成立しました。平成31年4月1日に施行され、「新たな森林管理システム」がスタートします。

国内の森林は、戦後や高度経済成長期に植栽されたスギやヒノキなどの人工林が大きく育ち、木材として利用可能な時期を迎えようとしています。利用可能な森林が増える中、国内で生産される木材も増加し、木材自給率も上昇を続け、平成28年には過去30年間で最高水準となる34.8%となるなど、国内の森林資源は、「伐って(きって)、使って、植える」という森林を循環的に利用していく新たな時代に入ったと言えます。

一方、我が国の森林の所有は小規模・分散的で、長期的な林業の低迷や森林所有者の世代交代等により森林所有者への森林への関心が薄れ、森林の管理が適切に行われない、伐採した後に植林がされないという事態が発生しています。83%の市町村が、管内の民有林の手入れが不足していると考えている状況であり、森林の適切な経営管理が行われないと、災害防止や地球温暖化防止など森林の公益的機能の維持増進にも支障が生じることとなります。加えて、所有者不明や境界不明確等の課題もあり、森林の管理に非常に多くの労力が必要になるといった事態も発生しています。このような中、適切な経営管理が行われていない森林を、意欲と能力のある林業経営者に集積・集約するとともに、それができない森林の経営管理を市町村が行うことで、

森林の経営管理を確保し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ることとしていきます。

詳細については、次の URL の WEB をご覧ください。

URL : <http://www.rinya.maff.go.jp/j/keikaku/keieikanri/sinrinkeieikanriseido.html>

---

## 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(135)

---

北海道名寄市健康の森で、子育てサークル対象の森のようちえんを行いました。このサークルは主に幼稚園児の母親と園児、その兄弟で構成されています。今回は、1歳児から5歳児までの子どもたち10名くらいとその母親が参加しました。最初にクルミの殻を見せて「これは誰が食べたのかな？」と問いかけることでスタート、その後クルミの殻探しをしました。「あった～」子どもたちの歓声が響きました。だいたい採り終わった頃にクルミの木を見せ、葉の様子や少しふくらんできた実(子房)の観察、幼児でも懸命に理解しようとしています。植物の次は昆虫採集、ミヤマカラスアゲハを見て大歓声！その美しさに見とれています。持たせてみるとドキドキ、ワクワクほとんどの子どもたちは大きなチョウを持ったことがありません。これらの自然の初期体験がこの後実ってくるといいですね！

(森林インストラクター 柳原 高文)

---

## 3 <森林・林業白書から> ボランティア活動における安全確保の取組

---

森づくり安全技術・技能全国推進協議会は、「森づくり安全技術・技能習得制度」を運営し、森林ボランティア活動を行う者を対象として、森林での活動を安全に行うために必要な知識や技術の研修を行うとともに、知識等の習得状況の審査・認定を行っている。

平成29(2017)年10月に東京都八王子市で計7日間にわたり開催された研修会は、チェーンソーの安全な使用方法を理解し、伐木・造材の作業を安全に行うための知識・技能等を身に付けることを目的としたもので、森林整備や伐木作業についての座学や、チェーンソーの取扱いや点検整備、足場や伐倒する立木に見立てた丸太の傾きを調整することで実際の作業現場に近い状態での反復練習を可能にする伐倒練習機を使った受け口づくりや追い口の入れ方の実習等も行われた。

林業の現場における安全な労働環境の整備に向けた取組が進められている中、このような研修を実施することで、森づくり活動における安全を確保するための技術や技能は林業労働者と共通であるとの認識が広がり、ボランティア活動における安全の確保が図られることが期待される。

(平成29年度森林・林業白書 事例から)

---

## 4 <樹をとりまくはなし>(15) 結婚式にパンダ目～ミフクラギ～

---

昨年初めて沖縄に行きました。友人の結婚式で娘を連れて訪れたのですが、あたりはまるで知らない植栽です。結婚式の前にホテルの周りを散歩して、見慣れない赤い実が落ちていたので何だろうと触りました。その後、沖縄式の結婚式を見て「良かったねー」と感涙し、その手で涙を拭きました。式の最中、娘から「どうしたの？お母さん、目が！」と言われ、鏡を見ると目の周りに赤い斑点が出ていました。周りの人からも「どうしたの？」と驚かれ、「猫アレルギーかもー」とごまかしたんですよね（ホテルの周りに猫もいたから）。部屋に帰って図鑑をみていたら、ミフクラギという木でした。若い実をさわった手で目をさわると目が腫れるから、ミ（目）フクラ（膨れる）ギ（木）とありました。あのきれいな赤い実は、とても魅力的で動物はつい手を出すと思うのですが、全木かなり強い毒性があるようです。キョウチクトウの仲間です。種は水に浮き運ばれるようで、動物の出番は無いってことですね。結婚式で、ミフクラギの洗礼を受けてしまい、滞在中も目の周りがぱりぱりのパンダのようで、娘に呆れられてしまいました。

（森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗）

---

## 5 <イベント情報>

### ◆トキの島 森林の楽校2018夏（環境学実習）

---

佐渡島でトキの試験放鳥が始まって、この9月で丸10年となります。

自然界で産まれた両親から産まれたトキの雛も順調に育ち野生復帰が着実に進んでいます。

JUON NETWORK では 2002 年から新潟大学のトキ野生復帰プロジェクトに協力し、放たれたトキの居場所となる里山づくりを行ってきました。今後も、空を舞うトキに出会えるよう、森林の楽校（もりのがっこう）で里山保全活動を継続します。

お気軽にご参加下さい。初心者大歓迎。

また、オプションコースとして、新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センターが開催する公開講座にご参加いただけます。アカデミックな実習に加え、佐渡島のスギ天然林（林齢約 500 年）などを見に行くトレッキングもあります。

【と き】 2018 年 8 月 20 日(月)～22 日(水) 2 泊 3 日

[オプションコース 18 日(土)～19 日(日) 1 泊 2 日]

【と ころ】 新潟県佐渡市(佐渡島)

【内 容】 ◇トキ野生復帰を助ける、藪払い・田おこし等の里山保全活動

◇野生復帰したトキの観察

※観察は、トキの動き等によって中止することがあります。

【主 催】 新潟大学 朱鷺・自然再生学研究センター

新潟大学農学部附属 フィールド科学教育研究センター

JUON NETWORK

○詳細・お申込みはこちら！ →<http://blog.canpan.info/juon/archive/465>

○問合せ先

〒166-8532 杉並区和田 3-30-22 大学生協杉並会館内

TEL03-5307-1102 FAX03-5307-1091

E-mail juon-office@univcoop.or.jp

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録  
いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====

☆ 事務局から

=====

西日本豪雨災害の被災者の皆様にお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧、復興をお祈り申し上げます。

例年では、関東地方の梅雨が明けるか否かの7月中旬に、今年は早くも連日の猛暑日が続いています。特に、西日本豪雨災害の被災地では、一層復旧作業を困難にしている模様です。

ところで、昔の雨の降り方と近年の降り方では明らかに違いがありそうです。近年の気象状況に対応した防災対策が急がれます。(K)

~~~~~

☆☆☆ご投稿等は E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F

一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局

TEL:03-5840-7471 FAX:03-5840-7472 E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)

URL: <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

~~~~~

